

留 学 報 告 書

(受入れ交換留学生)

記入日：2016年9月14日

出身国	タイ
出身大学・学部 (和文及び英語)	(和) シーナカリンウィロート大学・人文学部 (英) Srinakharinwirot University, Humanities Faculty
明治大学での留学期間	2015年9月～2016年8月

日本に留学しようと思った理由	日本語勉強だけではなく、新しい社会を修学するために日本に留学します。日本に暮らしていて、日本人の友達になると、日本の習慣や日本人のライフスタイルについて理解できるようになります。さらに、自分の日本語能力が上達すれば、今より日本語が自然に話せると思います。その理由で日本に留学いたしました。
明治大学情報コミュニケーション学部を選んだ理由	シーナカリンウィロート大学から明治大学・情報コミュニケーション学部への交換留学プログラムがあります。明治大学は有名で、良教育質を持っていると知られています。明治大学のような環境を勉強して、いい勉強になって将来に役に立つと考えます。
情報コミュニケーション学部・学生の雰囲気	情報コミュニケーション学部の事務員は留学生に授業の内容や単位交換などを説明してもらって、色々なことをお世話になりました。そして、情報コミュニケーションの学生と一緒に勉強して、楽しかったです。友達は日本のことを紹介したり、私がタイのことも交換したりします。
宿舎の雰囲気	<input type="checkbox"/> 和泉 IH <input type="checkbox"/> 狛江 IH <input type="checkbox"/> その他(実家) 私はお母さんと一緒に住むので、毎日茨城県から明治大まで通っていました。自分の家に住むのは食事を心配がなく、安全に住むのが良い点ですけど、友達と一緒に住むの方がもっと楽しいと思います。
交友関係	日本に暮らしていて、外国人の友達になると、異なる考え方やライフスタイルなどが理解できると思っています。さらに、異文化能力が上達できます。それ以上に、一緒に楽しい日本語授業を勉強するのが面白いです。勉強終わった後、友達と一緒にカフェへ行ったり、遊びに行ったりします。
学習内容・勉強について	日本語授業は総合・口頭表現・文章表現・読解4つの授業を取りました。この日本語授業は外国人の友達と一緒に勉強して、授業中で自分の国の文化や意見などをディスカッションします。時々、発表もあります。それから、日本語以外のゼミナールや日本文化論など情報コミュニケーション学部の科目も取りました。2つの授業は日本人と一緒に勉強します。
課題・試験について	課題は科目によって違いますが、ほとんど少ないですけど、授業中でいろいろな活動があります。アンケート・面接の結果を発表やディベートなどがあります。試験は筆記試験があるので、全部の学んだこと生かして、試験を受けるのが心配がありません。そして、ある科目は試験がない代わりにレポートを提出します。

大学外の活動について	日本に留学中タイのレストランに働いたので、タイ料理が好きな日本人と話すのが楽しかったです。アルバイト以外は旅行へ行きました。日本国内も海外も行きました。新しい社会を暮らして、短期間でも長期間でもいい経験になりました。					
ある平日のスケジュール	平日は6時くらい起きました。7半電車に乗って、8半大学に着きました。毎週の火・木・金曜日は午前9時～12時10分日本語授業があります。ある日午後まで授業がある場合もあります。いつも12時半授業が終わった後、自由時間になります。用事がない日は午後6時くらい家に帰ります。夜8時～9時半宿題や復習・予習をした後、10時寝ます。					
ある休日のスケジュール	休日は家族と一緒に観光地へ遊びに行ったり、友達と一緒に買い物や映画を見に行ったりします。予定がない休日はアルバイトがあります。					
情報コミュニケーション学部で得たことや留学の感想	留学した経験によって、新しい社会が見られています。海外に過ごすと、異なる文化や異なる考え方などを交換して、広い世界が分かるようになりました。日本に留学して、いい経験になりました。機会があれば、また日本に行きたいです。					
私の時間割	時間割表を公開します。					
春学期	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限		日本語4（総合）		日本語4（総合）	日本語4（総合）	
2限		日本語4（読解）		日本語4（口頭表現）		
3限						
4限						
5限				問題解決ゼミナールⅠ		
6限						

